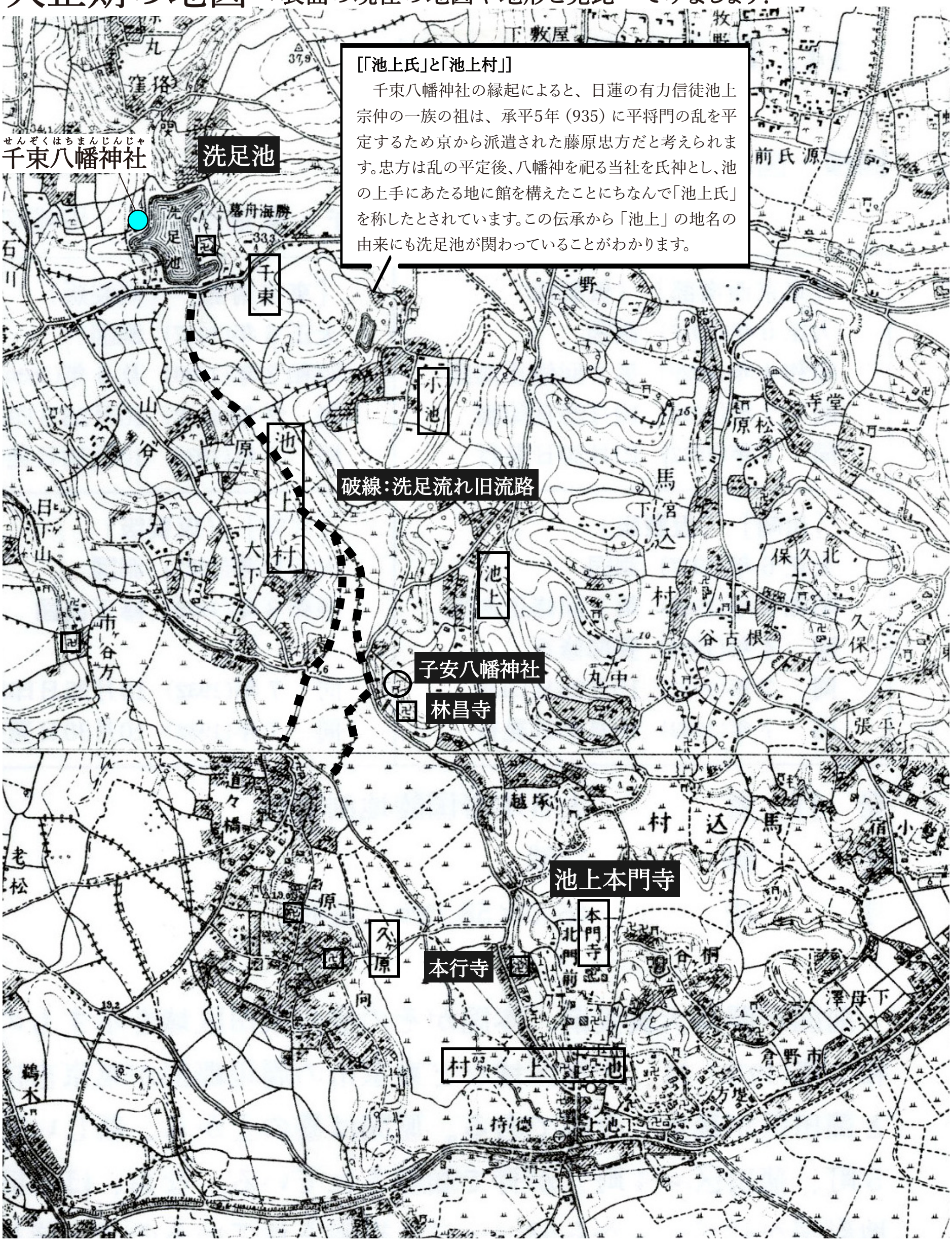
旅する文化財
シリーズ2

旅する洗足池～池上本門寺
日蓮の伝承をたどる

大正期の地図 *表面の現在の地図や地形と見比べてみましょう！



[「池上氏」と「池上村」]

千束八幡神社の縁起によると、日蓮の有力信徒池上宗仲の一族の祖は、承平5年（935）に平将門の乱を平定するため京から派遣された藤原忠方だと考えられます。忠方は乱の平定後、八幡神を祀る当社を氏神とし、池の上手にあたる地に館を構えたことにちなんで「池上氏」を称したとされています。この伝承から「池上」の地名の由来にも洗足池が関わっていることがわかります。

（下図：大田区教育委員会 1988「13. 大正期の大田区」『地図で見る大田区（1）』大田区の文化財第 24 集）

「名勝洗足池公園保存活用計画」関連事業
大田区教育委員会文化財担当（令和６年６月）